

「こおりやまの米」通信

平成27年6月19日



郡山市
イメージキャラクター
「がくとくん」

編集：郡山市
JA 郡山市 (TEL. 921-0724)
NOSAI 郡山田村 (TEL. 933-3307)
県中農林事務所農業振興普及部 (TEL. 935-1310)

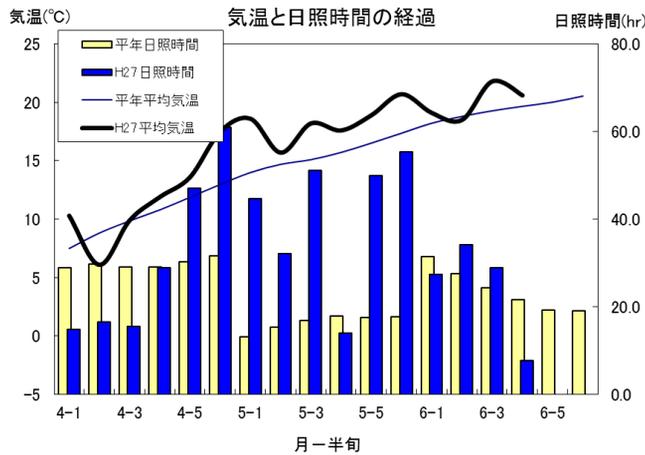
発行：郡山市農作物生産対策協議会 (郡山市園芸畜産振興課 TEL924-3761)

Vol.5 「除草・防除・中干し」次回は7月上旬

最新号はJA各支店窓口に備え付けてあります。

1 生育概況

- (1) 6月19日現在の23ほ場の調査結果では、平坦部では草丈が平年並み、茎数は平年並みですが、ほ場によってバラツキがみられます。湖南地区は草丈は平年並み、茎数は平年より多くなっています。
- (2) イネミズゾウムシやイネドロオウムシの発生は、平年に比べやや少ない状況です。



6月19日 生育調査結果

品種 (調査地点)	年次	草丈 (cm)	茎数(本)		葉齢
			株あたり	m ² あたり	
コシヒカリ (三穂田)	本年	39.0	18.7	352	6.8
	平年比(%)・差	106	85	93	-0.5
コシヒカリ (田村)	本年	45.1	32.5	595	5.6
	平年比(%)・差	103	123	110	-0.8
ひとめぼれ (安積)	本年	32.7	16.7	296	5.6
	平年比(%)・差	102	98	92	+0.2
天のつぶ (喜久田)	本年	38.5	13.6	337	6.2
	前年比(%)・差	93	79	102	-0.5
あきたこまち (湖南)	本年	29.5	18.6	365	7.7
	平年比(%)・差	102	174	178	+1.9

2 天気予報

【1か月(6/20~7/19)予報】(6月18日 仙台管区气象台発表)

平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

向こう1か月の降水量は、平年並みまたは少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

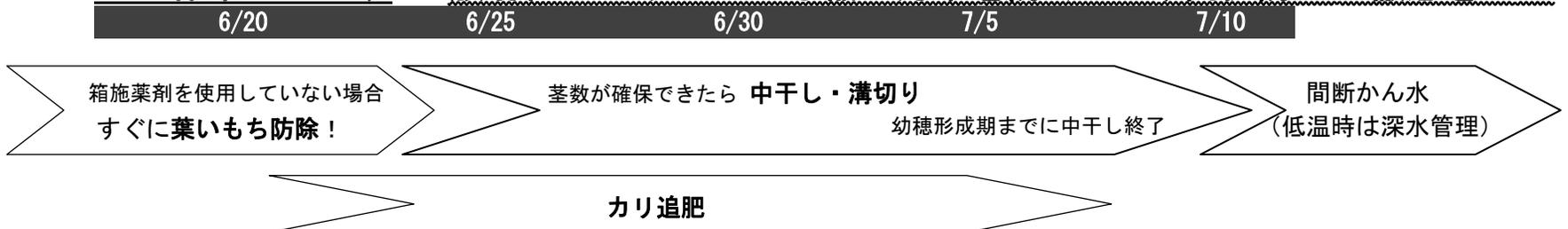
週別の気温は、1週目は、平年並みまたは高い確率ともに40%です。2週目は、低い確率50%です。

【3か月予報】(5月25日 仙台管区气象台発表)

7月 平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。降水量は、平年並みまたは多い確率ともに40%です。

8月 東北日本海側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。降水量は、平年並みまたは多い確率ともに40%です。

3 作業のめやす 放射性セシウムによる稲の汚染を防ぐため、倒伏防止の徹底を！！



4 葉いもち 穂いもち防除には葉いもち防除が重要です！

葉いもちに感染しやすい時期になりました。置き苗は直ちに処分し、葉いもちの予防に努めましょう。

・まだ防除していない水田

オリゼメート粒剤等を、**葉いもち防除のため、すぐに散布**しましょう。予防防除は地区全体で取り組むと効果が高まります。

すでに発生してしまったら、粉剤・液剤等で防除し、拡大を防ぎましょう。

・移植時にDr. オリゼ箱粒剤、デジタルコラトップアクタラ箱粒剤等の箱粒剤を使用した水田

7月中～下旬に水面施用剤(フジワン粒剤等)で、穂いもち防除を行ってください。

！！平成27年度福島県農薬危害防止運動展開中！！(6/10~9/10)

農薬(特に粉剤・液剤)を使用する際は、近隣作物に飛散しないように注意してください。

5 水管理 倒伏を防止し、低温時の深水に備えてしっかり中干しを！

*中干しは土壌の条件、生育状態に合わせて実施を！
溝切りと併用すると落水が早いよ！



- ① 茎数が少ないほ場では、引き続き浅水管理を行い、分けつを促進しましょう。
- ② 株当たり20本程度の分けつ（有効茎）を確保したら中干しを行い、無効茎を抑えましょう。
- ③ 中干しとあわせて、溝切り（4～5m間隔）を行い、中干しを促進するとともに、その後の水管理を容易にして秋作業に備えましょう。
- ④ 中干しは、幼穂形成期前までに終了し、その後は間断かん水により根を健全に保ちましょう。低温の恐れがある場合は深水にしましょう。

中干しの効果

- (1) 有機酸や硫化水素などの水溶性の有害物質の排除
- (2) 土中に酸素を供給することによって土の還元をなくす
- (3) 土壌窒素の発現を一時的に抑制し稲の生育を調節
- (4) 土壌を固くする

根ぐされ防止
倒伏防止

中干しは田面に亀裂が入り足跡がつく程度！

- { 生ワラ施用田、粘質土壌 ⇒ 強めの中干し
- { 生育過剰田 ⇒ 強めの中干し
- { 地力のない水田 ⇒ 間断かん水で（弱めの中干し）
- { 砂質土壌 ⇒ 間断かん水で（弱めの中干し）

↓ 無効茎の抑制

稲が開張して受光体勢が向上します

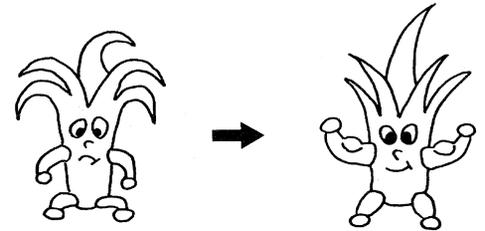
6 カリ追肥 倒伏させないために窒素を控え、カリ追肥で稲を丈夫に！

稲体強化等を目的として、ケイ酸カリ等を追肥する場合は、出穂40日前（6月下旬～7月始め）にカリの追肥を行って、茎と根を丈夫にします。

ケイ酸カリ（出穂40日前） 20kg/10a：でき過ぎた田、コシヒカリに有効
塩化カリ（出穂35日前） 7kg/10a：一般田

～追肥の効果～

- ① 稲の体を強くする。（いもち病等にかかりにくくする。倒伏防止）
- ② 根の働きが良くなる。（下葉の枯れ上がりを防止→登熟向上）
- ③ 籾殻を大きくしたり、籾の奇形が少なくなる。
- ④ 穂数、籾数、千粒重の増加が期待できる。



7 雑草防除 ホタルイ・アゼナ対策

雑草が残った場合は、下表を参考に防除してください。

雑草の種類	イネの茎数	除草剤	使用時期	収穫前日数	使用上の注意
広葉雑草（ホタルイ、アゼナ等）だけ残った田	茎数がまだ確保できていない田	バサグラン粒剤(ナトリウム塩) 3～4kg/10a	移植後15～50日	60日前まで	落水し、尻水口をしめて散布する
	株20本以上確保した田	グラスジンMナトリウム粒剤 ※ 3kg/10a	有効分けつ終末期～幼穂形成期前	60日前まで	
広葉とヒエの両方残った田	茎数の確保に関係なく使用できる ただしノビエ5葉期まで	クリンチャーバス ME 液剤 1000ml/10a (70～100L/10a)	移植後15日～ノビエ5葉期	50日前まで	湛水散布。多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布する
		フォローアップ1キロ粒剤 1kg/10a	移植後20日～ノビエ5葉期	60日前まで	

※グラスジンMナトリウム粒剤は分けつを止める作用があるので、茎数を確保してから使います。

この資料は、平成27年6月10日現在の農業登録情報に基づいて作成しています。

飼料用米等の新規需要米の取組計画書の提出期限が延びました！
提出期限は「7月末日」までです！

飼料用米等の取組計画等に関する問い合わせ先 Tel. 024-922-1614

東北農政局 福島地域センター郡山庁舎 〒963-8013 郡山市神明町4-22

農薬のボトル等の適正処理のおねがい

農薬のボトル等の農業用使用済プラスチック類は「産業廃棄物」となるため、ごみ集積場やクリーンセンターへの搬入はできません。JA郡山市では回収処理代行を実施しておりますので、詳しくはお近くのJA支店へお問い合わせください。